

# 神戸大学

## Kobe University China Office

100190  
北京市海淀区中関村北四环西路33号 中国科学院文献情报センター 616室  
[http://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/chinaoffice/index\\_zh.html](http://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/chinaoffice/index_zh.html)  
TEL: +86 (0)10 6253 8332  
FAX: +86 (0)10 6253 8664  
E-mail: [opie-chinaoffice@office.kobe-u.ac.jp](mailto:opie-chinaoffice@office.kobe-u.ac.jp)

### 神戸大学・京都大学・大阪大学 中国蘇州シンポジウム ー日中国交正常化40周年ー

2012年9月6日、神戸大学、京都大学、大阪大学は、日中国交正常化40周年の節目を迎える記念として、中国江蘇省蘇州市において、池田泉州銀行主催の「中国蘇州シンポジウム」を開催しました。

関西3大学と中国華東地区に位置する復旦大学、上海交通大学、蘇州大学、同濟大学、浙江大学の研究者による「グリーン・イノベーション」をテーマとした講演会、8大学の学長による「グローバル人材育成に向けた国際化戦略」と題するシンポジウム及び池田泉州銀行、日立製作所を交えたパネルディスカッションを実施しました。

福田秀樹学長は、日本の国際的競争力を強化するため、グローバルな視野を有し、喫緊の重要課題に対し先導的に取り組めるリーダーを育成することの重要性を強調しました。さらに、学生の国際化のためには、「若手教員長期海外派遣制度（平成21年9月より実施）」等を活用し、教員の国際化を促進していくことが必要不可欠であると述べました。

争に翻訳し、異なるアイデア及び価値観の間の競合について、市場競争の場において決着を図る方法を提案しました。

本シンポジウムには、蘇州の日系企業関係者を中心に約260名が参加しました。



### 第3回神戸大学グローバルリンク・フォーラム

2012年9月9日、中国神戸大学同窓会との連携により、第3回神戸大学グローバルリンク・フォーラム in 北京ーグローバル人材の育成と輩出ーを開催しました。日中国交正常化40周年にあたる記念すべき年に開催した本フォーラムは、「2012日中国民交流友好年」事業に認定され、在中国日本国大使館及び日本学術振興会北京研究連絡センターの支援により実施しました。

福田秀樹学長の挨拶に始まり、山田重夫在中国日本国大使館公使、神戸大学の卒業生でもある徐一平北京外国語大学日本学術研究センター長から祝辞をいただきました。

特別講演では、佐々木衛日本学術振興会北京研究連絡センター長（人文学研究科教授）の司会進行により、福田学長、山川薫関西経済連合会常務理事、徐俊傑北京移動納維取締副会長（工学研究科博士後期課程修了）が講演を行いました。

福田学長は、国際性と統合性を特色とする本学の教育・研究、さらに、グローバル人材育成のための神戸大学の戦略等について紹介しました。山川常務

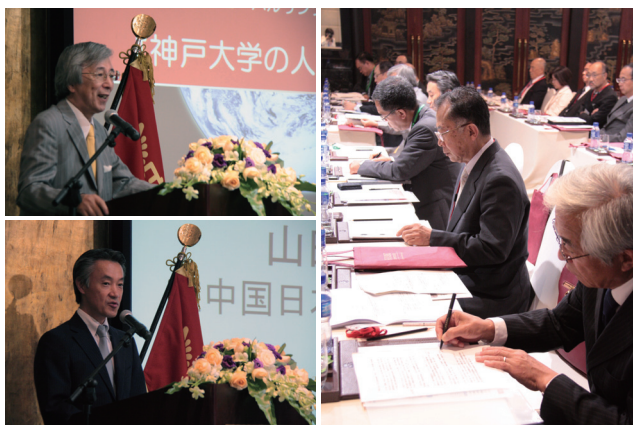


石川雅紀経済学研究科教授は、「持続可能な社会への移行におけるNPOの役割：ごみじゃぱんによる減装（へらそう）ショッピングの事例から」の題目で講演し、利害から中立的なNPOが社会課題を市場競



后援：日本国駐上海総領事館 近畿経済連合会  
公益社団法人关西経済联合会  
大阪商工会议所 NPO大阪府日本中国友好协会  
独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)大阪本支店  
独立行政法人日本学術振興会北京研究連絡センター  
日本共和国駐大阪総領事館

理事は、現代社会における日中協力の必要性とアジアに足をつけた人材育成の重要性を強調されました。徐俊傑取締役副会長は、日中両国の大学で学んだことによる人生への影響について、起業やビジネス管理の角度から説明されました。また、韓晏元天達律師事務所パートナー弁護士・中国政法大学特任教授（法学研究科博士課程修了）から、日中法制度からみたビジネスの秘訣について、具体的な事例を基に解説がありました。



続いて、竹田真木生農学研究科教授から、神戸大学が挑むアジア共通課題として、温暖化や化学物質による環境の変化・汚染が、害虫の分布や生態系に与える影響について説明がありました。高橋亘経済経営研究所教授による講演では、日中間の金融協力について、これまで培われた信頼関係に基づいて進めるべきであることが強調されました。

フォーラムに続いて、同窓会ネットワークが実施され、中国各地から集った同窓生が旧交を温めるとともに、次回のグローバルリンク・フォーラムがベトナムにて開催されることが発表されました。

グローバルリンク・フォーラムは、学長自ら海外へ赴き、神戸大学のブランドを世界に発信し神戸大学のプレゼンスを高めることを目的に、毎年実施しています。



### 国際学術シンポジウム

2013年3月2日、日本学術振興会北京研究連絡センターの後援を得て、浙江大学において、「民間交流と東アジア共同知」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。

神戸大学からは、中村千春国際交流担当理事・副学長、国際文化学研究科の阪野智一研究科長、石原享一教授、王柯教授、人文学研究科の百橋明徳教授、佐々木衛教授が参加しました。

本シンポジウムは、東アジア諸国・地域の専門家の知見を得て、民間交流の視点から、今一度東アジア地域の人々が共有してきた人類の知恵、思想、価値観を緊密に繋げている経済交流関係等の意義を確認し、それを常に意識する必要性を東アジア地域社会へ呼びかけることを目的に開催しました。



シンポジウムには、神戸大学及び浙江大学の学生を含め約50名が参加し、日中双方の専門家による講演に耳を傾けるとともに、活発な意見交換が行われました。



### 各大学の北京事務所を訪問

2013年3月11-12日、中村千春国際交流担当理事・副学長、黄磷経営学研究科教授、松村仁国際部長一行が早稲田大学、創価大学及び東京大学の北京事務所を訪問しました。

今回の訪問を通し、各大学が北京に事務所を設置した経緯、事務所での活動内容及び今後の展望等についてお話を伺うとともに、優秀な留学生の確保、中国の大学・研究機関との連携の可能性等、共通の関心事項について意見交換を行いました。最後に、中国で円滑に活動する上において、中国に事務所を設置している日本の各大学・機関が密接に連携することの重要性について再認識し、今後も相互に協力し合うことを確認しました。



### 合同大学留学説明会

日本学術振興会北京研究連絡センター主催の留学説明会は、南昌地区(2012年6月14日 南昌大学)、広州地区(6月15日 中山大学)、北京地区(6月18日 中国人民大学)、長春地区(11月14日 東北師範大学赴日本国留学生予備学校)、大連地区(2013年3月16日 大連フラマホテル)の5地区で開催され、神戸大学は全ての説明会に参加しました。

#### 南昌地区(2012年6月14日 南昌大学)

在上海日本国総領事館及び日本学生支援機構の担当者から、日本留学に関する全体説明が行われ、日本政府の留学政策、東日本大震災後の留学状況及び留学後の就職状況等について説明が行なわれた。その後、大学等機関が各ブースにおいて参加者への個別説明を行いました。

南昌大学及び近隣の大学から約300名が来場し、神戸大学のブースには約100名が訪れました。

留学説明会のほか、南昌大学関係者と日本の参加大学関係者による意見交換会が行われ、留学生の受入体制や克服すべき課題等について議論しました。



#### 広州地区(2012年6月15日 中山大学)

神戸大学のブースには約100名の学生が訪れ、各研究科への申請方法、入学試験情報、要求される語学能力、指導教員への連絡方法、奨学金・生活費等に関する質問が寄せられました。中山大学は本学の協定校(2000年7月17日～)であり、神戸大学への留学を真剣に検討している学生が多数来訪しました。



#### 北京地区(2012年6月18日 中国人民大学)

中国人民大学は人文社会科学を主とする国家重点大学のひとつで、神戸大学と大学間協定を結んでいます(2003年7月23日～)。当日、神戸大学ブースへの来訪者は約60名と他会場に比べ少数でしたが、学生一人ひとりの希望に合わせて、神戸大学の特徴や魅力についてより丁寧に伝えることができました。



#### 長春地区(2012年11月14日 赴日予備学校)

東北師範大学赴日本国留学生予備学校では、中国赴日本政府文部科学省奨学金留学生(以下、国費留学生)の採用者をはじめ約120名が神戸大学ブースを訪れました。国費留学生以外に、東北師範大学の学生も多数来場し、本学職員を取り囲み積極的に質問する様子や真剣にメモする様子が見受けられ、日本留学に対する関心の高さをうかがわせる説明会となりました。



#### 大連地区(2013年3月16日 大連フラマホテル)

大連は日本語学習者数が中国で最も多い都市と言われており、日本留学への関心が非常に高い都市のひとつとして知られています。会場には予想を上回る400名以上の学生や保護者が訪れ、将来の就職まで見据えた質問が多数寄せられました。

### 中国国際教育巡回展（北京）

2013年3月9-10日、中国教育部留学服務中心主催の中国国際教育巡回展が全国農業展覽館（北京）で開催され、神戸大学は日本の出展エリアにブースを設け、約300名の来訪者に対応しました。

巡回展には、28カ国・地域から日本の38機関を含む約350機関が参加しました。

近年留学先として人気がある英国や米国をはじめとした欧米諸国の出展エリアだけでなく、韓国やシンガポールのエリアでも多数の来訪者があり、留学希望者の選択肢が多様化している様子が伺えました。



3月11日には、第26回中国神戸大学同窓会（北京）の集いが開催され、中村千春国際交流担当理事・副学長、黄磷経営学研究科教授、松村仁国際部長等が参加しました。中村理事・副学長による神戸大学の国際戦略に係るスピーチ、2009年から北京地区代表として多大なるご貢献を賜った川崎代表による帰国挨拶が行われました。

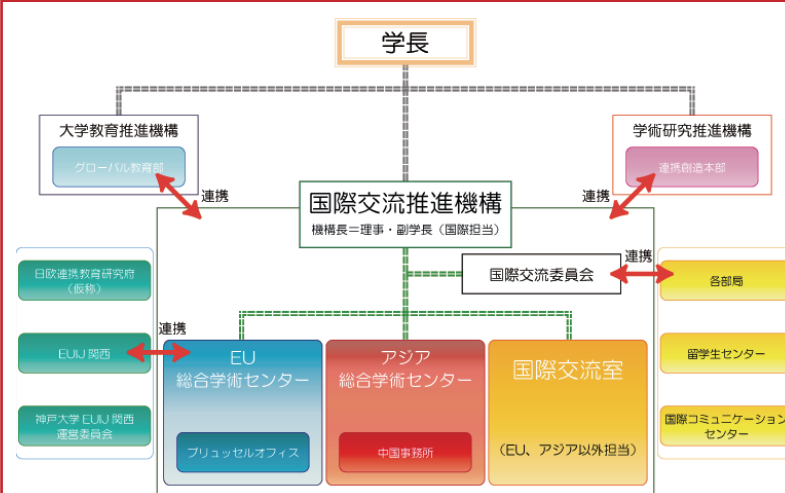
神戸大学中国同窓会は2006年、徐一平北京外国語大学日本学研究センター長（文化科学研究科修了）のご尽力により設立され、現在、北京地区・上海華東地区・大連地区・広東香港地区の4カ所で定期的に活動を行なっています。中国における神戸大学のプレゼンスを高め、中国国内でのネットワークを発展させるためには、神戸大学と中国の各同窓会が緊密に連携・協力することが不可欠です。



### 中国神戸大学同窓会（北京）

2013年1月30日、第25回中国神戸大学同窓会（北京）の集いが開催されました。2011年4月より日本学術振興会北京研究連絡センター長に就任している佐々木衛人文学研究科教授の送別、2014年4月から新たにセンター長に就任する和田修連携創造本部客員教授の歓迎を兼ねて行われました。

## 国際交流推進機構（2013年7月1日設置）



2013年7月1日より、組織改組に伴い、神戸大学中国事務所は新設のアジア総合学術センターの中に設置されます。新設されるアジア総合学術センターでは、中国およびASEAN諸国の大学とのこれまでの学生交流や研究者交流の実績を踏まえ、今後ますます重要性が高まると考えられる中国やアジア諸国との学術協力を深め、相互の人材育成と流動性を高めるとともに、より強固な関係構築を目指します。

### 中国事務所スタッフ



所長：王柯  
国際文化学研究所・教授



副所長：黄磷  
経営学研究科・教授



所員：王篠卉

### 神戸大学ブリーフガイド（中国語）

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/materials/BriefGuide2013.pdf>